

# TOMOWEL

共にある、未来へ

2026年3月期 第3四半期  
決算説明資料

共同印刷株式会社（証券コード：7914）

2026年2月6日

01 決算概要

02 通期業績見通し

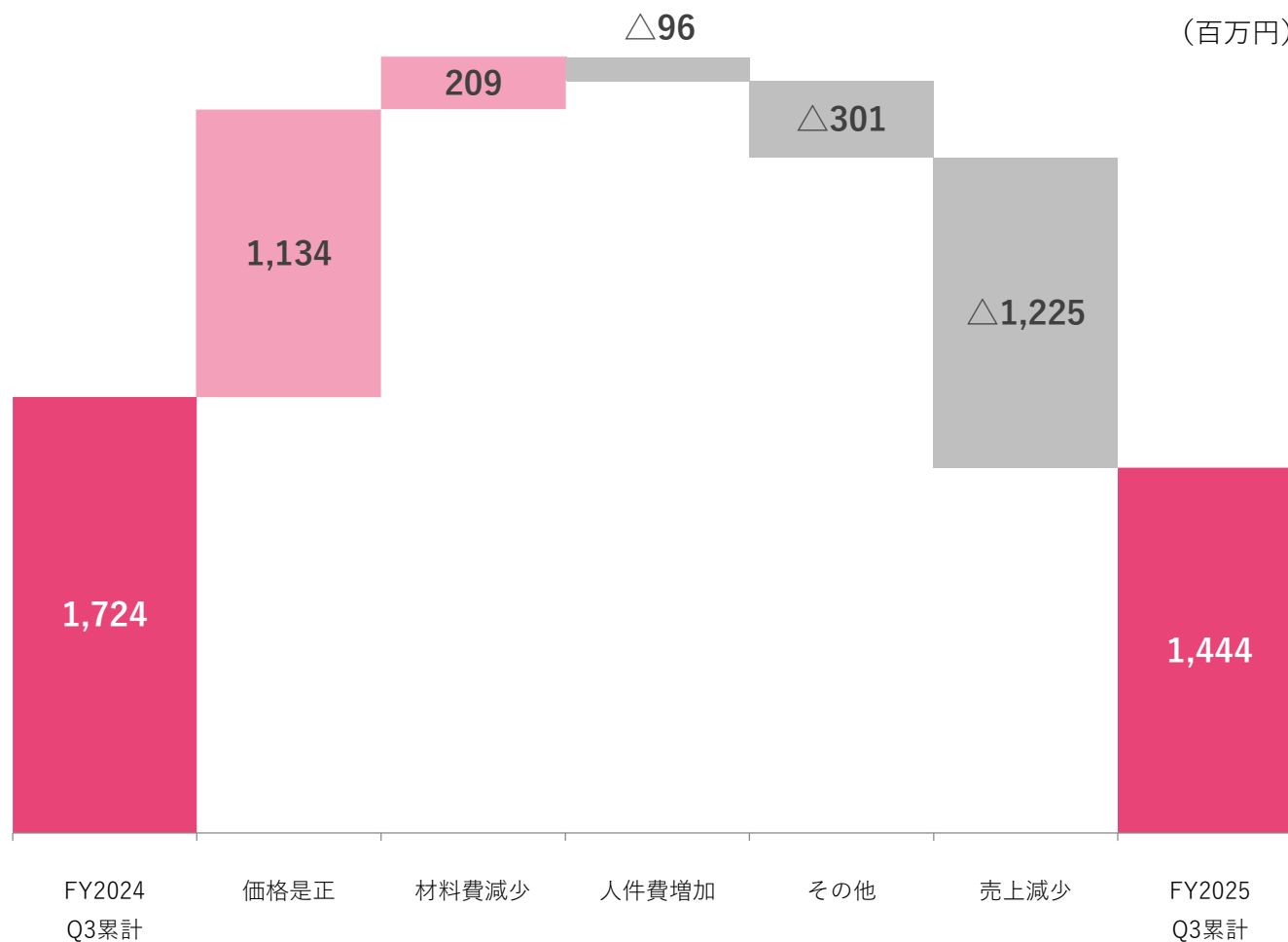
03 appendix

# 01

## 決算概要

- ✓ 売上高は、生活・産業資材系事業で増加したものの、情報系事業では採算性を重視した受注活動などで減少。営業利益は、減収のほか、一部製品における価格転嫁の遅れや受注価格の下落などにより減少。
- ✓ 政策保有株式の売却を方針に基づき実施。株価上昇の影響もあり、四半期純利益は増加。

	(百万円)	2025年3月期 Q3累計実績	2026年3月期 Q3累計実績	前年同期比	(増減率)	2026年3月期 通期業績予想	(進捗率)
<b>売上高</b>		<b>75,123</b>	<b>73,525</b>	<b>△1,597</b>	(△2.1%)	<b>103,500</b>	(71.0%)
〔内訳〕 情報コミュニケーション		26,011	24,189	△1,821	(△7.0%)	34,800	(69.5%)
情報セキュリティ		23,095	22,827	△267	(△1.2%)	32,500	(70.2%)
生活・産業資材		24,412	24,867	+455	(+1.9%)	34,000	(73.1%)
その他		1,604	1,640	+36	(+2.3%)	2,200	(74.6%)
<b>営業利益</b>		<b>1,724</b>	<b>1,444</b>	<b>△279</b>	(△16.2%)	<b>2,800</b>	(51.6%)
〔内訳〕 情報コミュニケーション		△155	△234	△78	(-)	△150	(-)
情報セキュリティ		1,576	863	△712	(△45.2%)	2,250	(38.4%)
生活・産業資材		883	1,098	+215	(+24.4%)	1,650	(66.6%)
その他（調整分含む）		△579	△283	+295	(-)	△950	(-)
<b>経常利益</b>		<b>2,159</b>	<b>1,954</b>	<b>△204</b>	(△9.5%)	<b>3,250</b>	(60.1%)
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>		<b>2,392</b>	<b>2,841</b>	<b>+448</b>	(+18.8%)	<b>3,850</b>	(73.8%)



✓ **材料費減少**

- ・紙媒体の減少に伴い用紙などが減少。

✓ **価格是正、売上減少**

- ・一部製品で価格転嫁に遅れ。
- ・情報系事業で受注量が減少。

✓ **人件費増加**

- ・苫小牧工場閉鎖による減少はあったが、賃上げにより全体では微増。

✓ **その他**

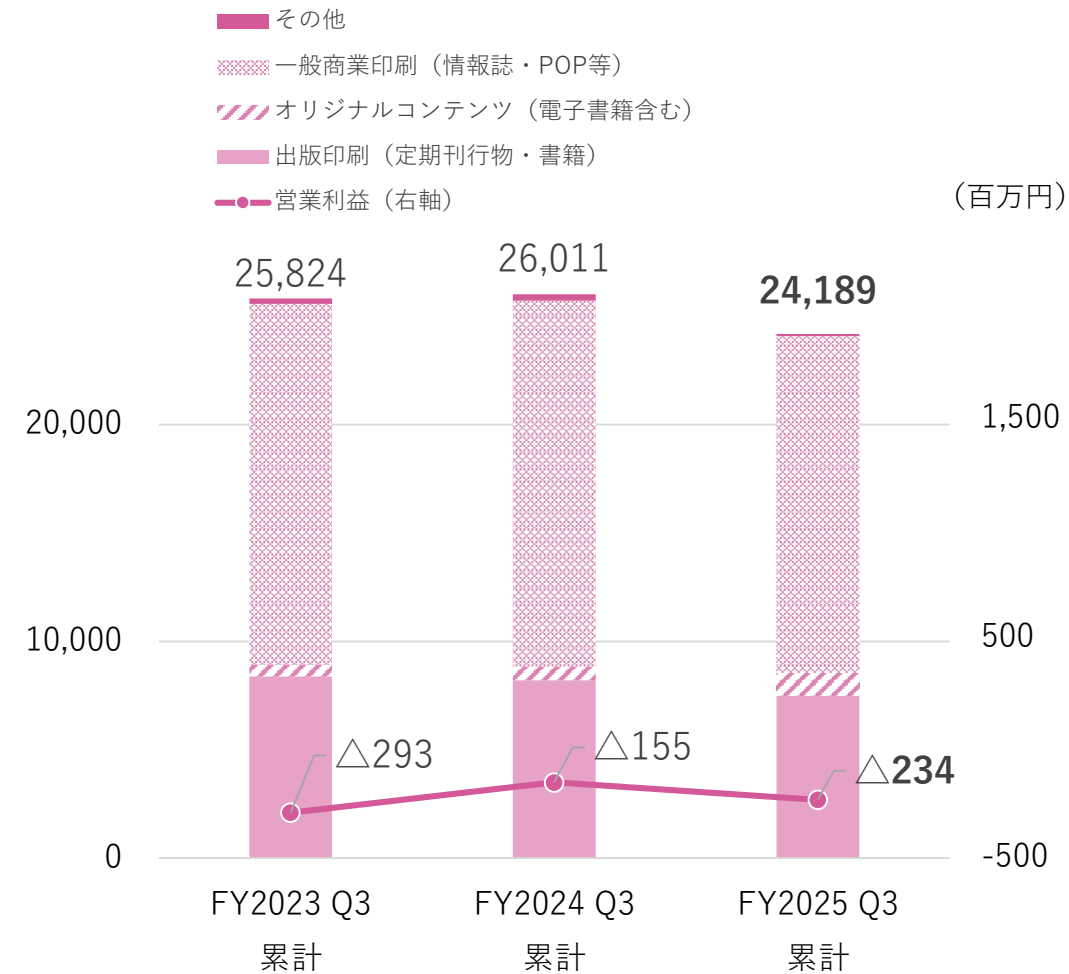
- ・店頭販促サービス等の伸長や、拠点再編に伴い外注費が増加。

情報コミュニケーション部門

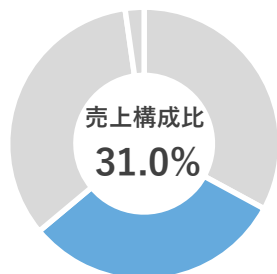


- Q3の主なポイント
- ・ 出版印刷、一般商業印刷とも紙媒体の需要が縮小。採算性を重視した受注活動の影響もあり売上高が減少。
  - ・ 統合報告書制作などのIR領域や、店頭販促サービス、電子コミックのオリジナル作品は順調に推移。
  - ・ 生産体制の見直しにより固定費は減少したものの、売上高減少の影響が大きく営業利益は前年下回り。
  - ・ Q4は、学びソリューションや各種イベント関連の伸長を見込むほか、生産体制の再構築や価格是正を推進。

●品目別売上増減イメージ



## 情報セキュリティ部門



単位：百万円 前年同期比

売上高 : **22,827** ( △1.2% )

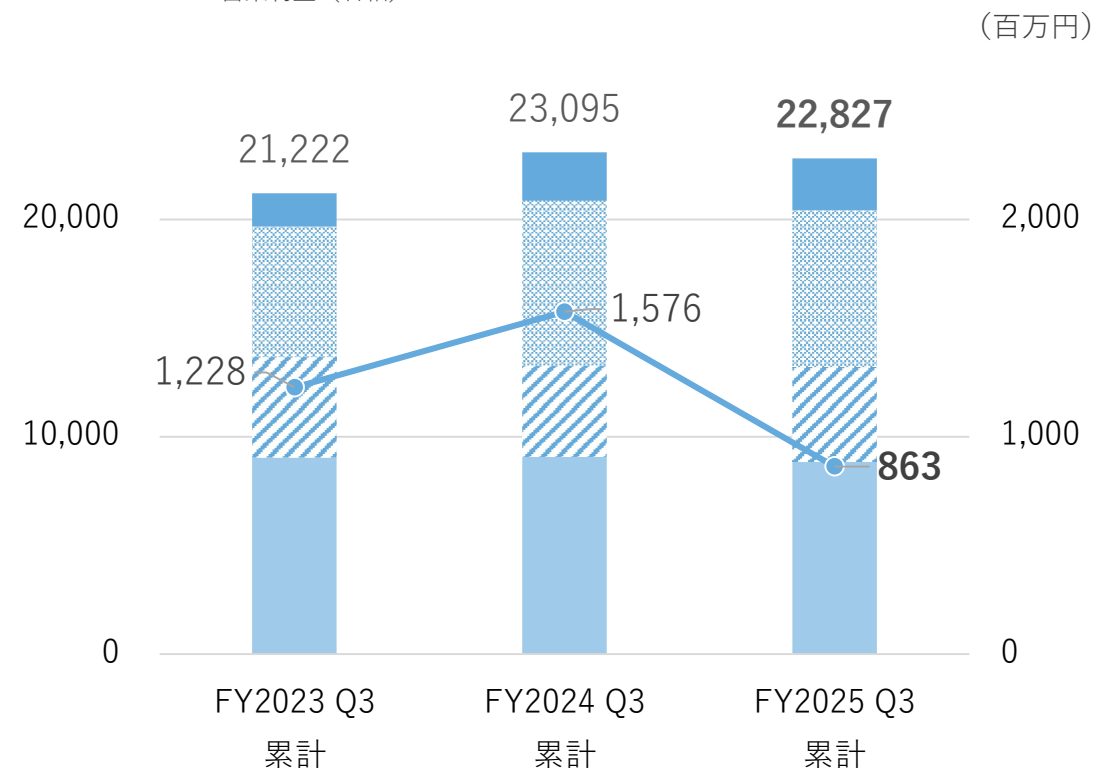
営業利益 : **863** ( △45.2% )

### ● Q3の主なポイント

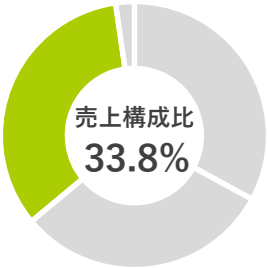
- ・ヘルスケア分野など情報サービスBPOは伸長したが、既存BPOにおける前年の大型案件減少の影響を埋めるに至らず。
- ・カードは、交通系ICカードやクレジットカードの受注量が減少。
- ・営業利益は、物流費などの価格転嫁の遅れと競争激化による受注単価の下落傾向を受け、前年下回り。
- ・Q4は、自治体向けBPOや情報サービスBPOの新規受注における拡大を見込む。

### ●品目別売上増減イメージ

■ その他（決済ソリューションサービス含む）  
 ■ カード  
 ■ 証券類（宝くじ・乗車券等）  
 ■ BF（データプリント・BPO等）  
 ● 営業利益（右軸）



生活・産業資材部門

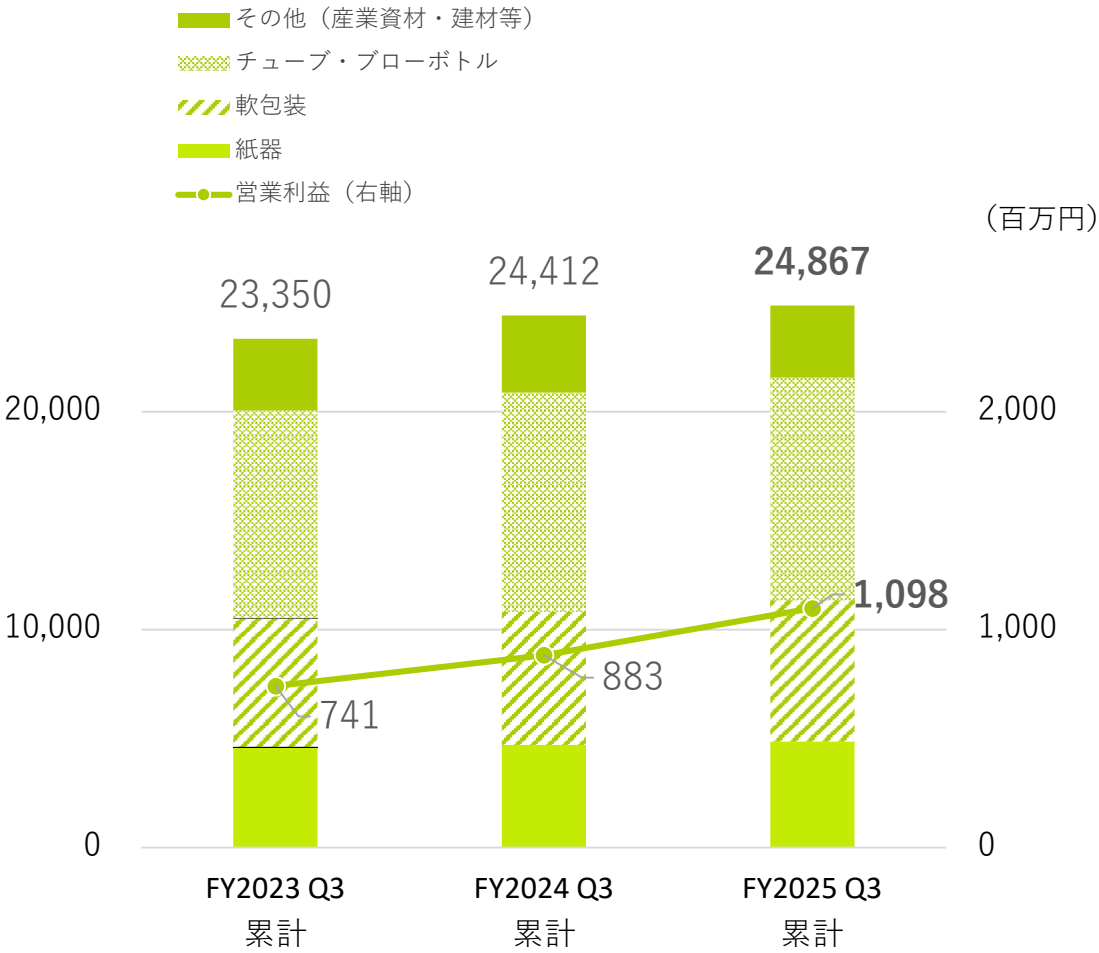


	単位：百万円	前年同期比
売上高	24,867	( +1.9% )
営業利益	1,098	( +24.4% )

● Q3の主なポイント

- ・ 紙器はラップカートンが伸長。
- ・ 軟包装は即席めん向けのフタ材やフィルム包材が増加、リキッドパッケージも好調に推移。
- ・ チューブは化粧品向けの新製品受注などで伸長。
- ・ 受注増と価格是正の進展により営業利益も増加。
- ・ Q4は生産効率向上と価格是正による利益率向上に引き続き注力する。

●品目別売上増減イメージ





02

通期業績見通し

第4四半期は、生活・産業資材系事業における軟包装とチューブの受注拡大、情報系事業における自治体関連の新規案件等の受注や、経費削減取り組みの効果を見込む。

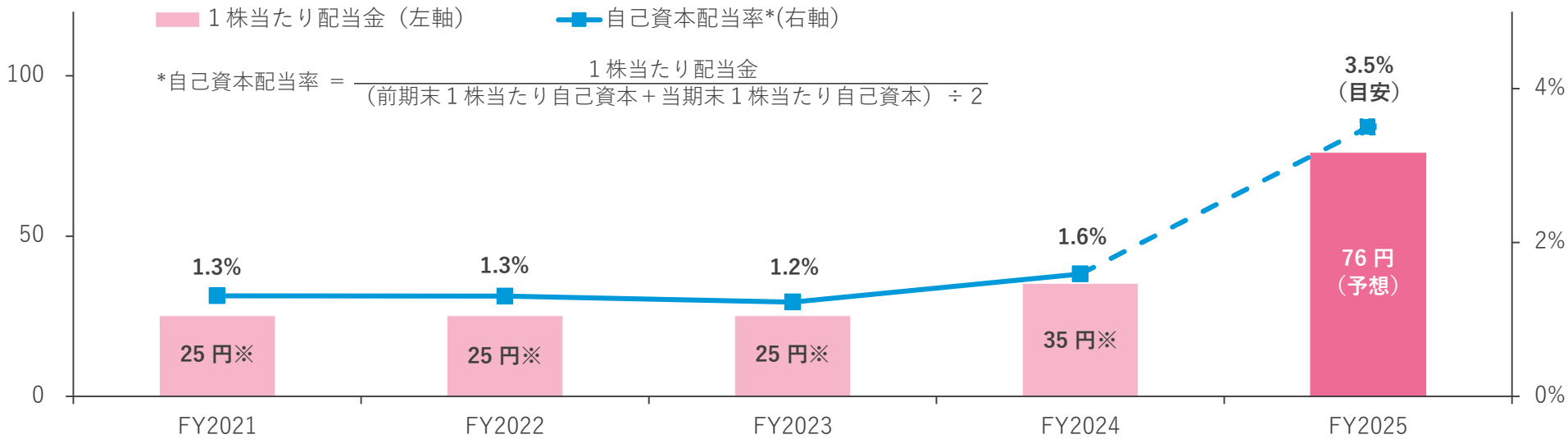
		通期 (2025年5月15日公表)		(参考)	
(百万円)		前年実績	業績予想 (増減率/額)	Q 3 累計実績	進捗率
売上高		99,977	103,500 (+ 3.5%)	73,525	(71.0%)
[内訳]	情報コミュニケーション	34,658	34,800 (+ 0.4%)	24,189	(69.5%)
	情報セキュリティ	30,755	32,500 (+ 5.7%)	22,827	(70.2%)
	生活・産業資材	32,331	34,000 (+ 5.2%)	24,867	(73.1%)
	その他	2,231	2,200 (△1.4%)	1,640	(74.6%)
営業利益		2,331	2,800 (+ 468)	1,444	(51.6%)
[内訳]	情報コミュニケーション	△176	△150 (+ 26)	△234	(-)
	情報セキュリティ	1,954	2,250 (+ 295)	863	(38.4%)
	生活・産業資材	1,211	1,650 (+ 438)	1,098	(66.6%)
	その他 (調整額含む)	△657	△950 (△292)	△283	(-)
経常利益		2,746	3,250 (+ 503)	1,954	(60.1%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益		3,310	3,850 (+ 539)	2,841	(73.8%)

●2026年 3 月期の配当について

以下の方針に基づき、※1株あたり76円（中間38円、期末38円）の見通しで、当初予想から変更なし

※2025年 4 月 1 日付 普通株式 1 株につき 4 株の割合による株式分割実施後

- ・ 企業価値の向上と安定的な株主還元を実現するため、自己資本配当率（D O E）3.5%を目安とします。
- ・ 中間、期末いずれも、期初に（前期末自己資本＋当期末予想自己資本）÷ 2 × 1.75% を目安とした配当予想。
- ・ 期初予想どおりの配当支払いを基本とするが、業績、財務状況等の推移を勘案し、中間配当＋期末配当がD O E 3.5%を大きく下回ることのないよう配当を行います。



※株式分割実施後の割合で参考記載

2025年11月26日開催の取締役会において決議した当社普通株式の売出しに伴う当社株式需給への影響を緩和すると同時に、株主還元の強化及び資本効率向上を図るため、自己株式の取得及び消却を実施。

2025年11月26日開催の取締役会において決議した自己株式の取得の状況については以下のとおり。

2025 年11 月26 日開催の取締役会における決議内容

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類  | 普通株式                                      |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 600,000株（上限） ※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 2.1% |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 1,000,000,000円（上限）                        |
| (4) 取得期間       | 2025年12月11日から2026年3月31日まで                 |
| (5) 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付け                          |

上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計（2026年1月31日現在）

- |                |              |
|----------------|--------------|
| (1) 取得した株式の総数  | 429,000株     |
| (2) 株式の取得価額の総額 | 669,652,800円 |

2025年11月26日開催の取締役会において決議した自己株式の消却については、以下のとおり完了しました。

- |               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| (1) 消却した株式の種類 | 普通株式                                |
| (2) 消却した株式の数  | 3,480,000株 ※消却前の発行済株式総数に対する割合 10.4% |
| (3) 消却実施日     | 2025年12月10日                         |

# 03

## appendix

(百万円)	2025年 3 月期 期末	2026年 3 月期 Q 3 期末	前期末比	主な増減内容
流動資産	47,780	46,894	△886	・ 現金及び預金 △2,017 ・ 棚卸資産 + 829
固定資産	78,388	79,195	+806	・ 有形固定資産 △2,016 ・ 投資有価証券 + 2,483
資産合計	126,168	126,089	△79	—
流動負債	26,262	30,838	+4,576	・ 1 年内償還予定の社債 + 5,000 ・ 1 年内返済予定の長期借入金 + 1,215
固定負債	36,992	29,976	△7,015	・ 社債 △5,000 ・ 長期借入金 △3,015
負債合計	63,255	60,815	△2,439	—
株主資本	53,059	53,817	+ 757	・ 利益剰余金 △1,767 ・ 自己株式（取得及び消却） + 2,525
その他の包括利益累計額	9,833	11,438	+ 1,604	・ その他有価証券評価差額金 + 1,841
非支配株主持分	20	18	△2	—
純資産合計	62,913	65,273	+2,360	—
負債純資産合計	126,168	126,089	△79	—
自己資本比率	49.8%	51.8%	+ 2.0P	—

(百万円)	2025年 3 月期 Q 3 累計	主な要因	2026年 3 月期 Q 3 累計	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,765	・ 減価償却費    + 4,429 ・ 仕入債務の減少    △3,263	3,154	・ 減価償却費    + 4,304 ・ 棚卸資産の増加    △869 ・ 法人税等の支払額    △1,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,488	・ 有形及び無形固定資産の取得による 支出    △3,332 ・ 投資有価証券の売却による収入 + 2,094	△1,105	・ 有形及び無形固定資産の取得による支出 △3,410 ・ 投資有価証券の売却による収入 + 2,587
フリーキャッシュ・フロー	1,277	—	2,048	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△846	・ 短期借入金の純増減額    + 2,931 ・ 長期借入金の返済による支出    △1,856 ・ 配当金の支払額    △792 ・ 自己株式取得による支出    △867	△4,127	・ 長期借入金の返済による支出    △1,874 ・ 自己株式の取得による支出    △390 ・ 配当金の支払額    △1,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	—	△35	—
現金及び現金同等物の増減額	435	—	△2,114	—
現金及び現金同等物の期首残高	10,944	—	12,184	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の 増加額	—	—	99	—
現金及び現金同等物の期末残高	11,379	—	10,169	—

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、

経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績予想などは、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでいることをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行うようお願いします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っていますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もありますので、ご注意ください。

【お問い合わせ先】

共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : 7914\_ir@kyodoprinting.co.jp

Webサイト : <https://www.kyodoprinting.co.jp/>